

授業科目名： 総合的な学習の時間の 指導法（初等）	教員の免許状取得のため の 必修科目（選択科目）	単位数： 1 単位	担当教員名：和泉 良司 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）	教員及び指導主事として「総合的な学習の時間」導入以来、学習指導・カリキュラム開発を進め、この実務経験を活かし具体的な指導に当たる。		
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（小学校）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	総合的な学習の時間の指導法		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業のテーマ及び到達目標 ・改訂された指導要領の三つの柱と総合的な学習の時間の目標及び資質・能力の捉え。 ・総合的な学習の時間において重視する学習の進め方と・各学校で定める内容の理解。 ・単元構想と指導計画の実際及び学習指導と評価、カリキュラムマネジメントのあり方の修得。			
授業の概要 総合的な学習の時間のねらいや育成を目指す資質・能力を明確にし、その特質を理解する。特に重視される「探究的な学習の過程」とは何かまた、どのような知識・技能を身に着け、課題にかかわる基本的な概念を形成していくのかをアクティブラーニングの手法を用いて実施し、指導法の修得を目指す。			

授業計画

第1回：総合的な学習の時間の目標

- ・今回の改訂における三つの柱と目標の構成、「第1 目標」の趣旨

第2回：総合的な学習の時間の特質に応じた学習のあり方

- ・探究的な学習過程。

第3回：各学校において定める目標及び内容

- ・各学校において定める目標
- ・各学校において定める内容
- ・目標を実現するにふさわしい探究課題

第4回：指導計画の作成と内容の取り扱い

- ・指導計画の作成に当たっての配慮事項
- ・内容の取り扱いについての配慮事項
- ・学校における教育活動との関連、他教科及び総合的な学習の時間の関連

第5回：総合的な学習の時間の指導計画の作成

- ・指導計画の要素
- ・全体計画と年間指導計画

第6回：各学校が定める内容

- ・目標を実現するにふさわしい探究課題例

第7回：探究課題を通して目指す具体的な資質・能力

- ・知識及び技能（概念的な知識例）
- ・思考力、判断力、表現力
- ・学びに向かう力、人間性

第8回：年間指導計画及び単元計画の作成

- ・作成及び実施上の配慮事項

第9回：単元計画と学習指導案

- ・単元計画の考え方、単元構成、学習指導案の実際

第10回：学習指導の基本

- ・児童の主体性、指導のあり方、具体的な教材

第11回：主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

- ・主体的な学びの視点、対話的の視点、深い学びの視点

第12回：探究的な学習と指導のポイント

- ・学習の過程と探究。課題の設置、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現

第13回：総合的な学習の時間の評価

- ・目標に準拠した評価、評価規準と評価方法

第14回：教育課程の評価とカリキュラムマネジメント

- ・教育課程の編成、実施、評価、改善

第15回：外部との連携

- ・教育資源とその活用、外部との連携のあり方

定期試験

スクーリングでの学修内容

（主に1～4回及び6～13回の内容を含む。）

教科書

文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 総合的な学習の時間編』

参考文献

- ・アクティブ・ラーニングと環境教育 環境教育学会編 2016 小学館
- ・生活・総合「深い学び」のカリキュラム・デザイン 田村学他 2017 東洋館出版社

学生に対する評価

レポート評価（25％）、スクーリング評価（25％）、科目修得試験（50％）の割合で総合して評価する。